

各県だより

このコーナーでは、各都府県方面組合から寄せられた、全国の組合、ホール等による各種の社会貢献・寄付活動を毎月紹介しています。

各都府県方面組合による社会貢献活動

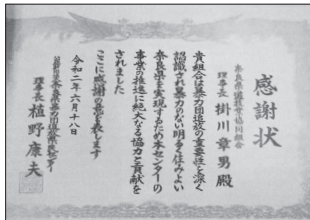
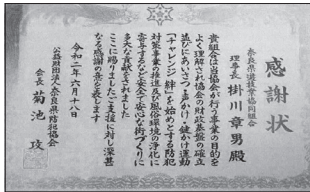
顕彰／表彰／感謝状授与

奈良

県内3公益団体から感謝状授与

奈良県遊技業協同組合（掛川章男理事長）は、2020年6月18日（木）、

同県遊協が活動資金を寄付した奈良県防犯協会、奈良県暴力団追放県民センター、奈良県共同募金会の3団体から感謝状と感謝楯が授与された。



寄付／寄贈

山形

県防連に寄付

山形県遊技業防犯協力会（井上静夫会長）は、2020年6月5日（金）、県民の安全安心のための防犯活動に役立ててもらうため、山形県防犯協会連合会に寄付を行った。同協力会では、2012年より

県民の安全安心のため防犯活動に活用していただく目的で通常総会時に県防連へ寄付を行っている。県防連では、寄付金を防犯活動の資金として運用している。



茨城

県内2団体に寄付

茨城県遊技業協同組合（平文暉朗理事長）は、2020年7月17日（金）に開催した同県遊協理事会の冒頭、茨城新聞社文化福祉事業団及び茨城県社会福祉協議会に寄



付を行った。寄付に対し、受贈団体を代表して、茨城新聞社文化社会福祉事業財団から謝辞が述べられた。



香川

県防連に寄付

香川県遊技業協同組合（平山剛理事長）は、2020年7月17日（金）、安全で安心な町づくりの推進に役立ててもらうため、香川県防犯協会連合会に寄付を行った。同県防連では、寄付金を特殊詐欺被害や少年非行防止の啓発チラシ作成等に活用する。また、同日、同県遊協の多年にわたる地域防犯活動への貢献に対し、

大分

通常総会の席上、県内公益団体に寄付

大分県遊技業協同組合（力武一郎理事長）は、2020年5月20日（水）に開催した同県遊協第54回通常総会の席上、大分県防犯協会、暴力追放大分県民会議、大分被害者支援センターに活動資金を寄付するとともに、大分県警察本部に電話機タイプの特殊詐欺撃退防犯機器101台を寄贈した。防犯機器は、大分県警察から県内の高齢者に配分される。

防犯／防災活動

広島

県と「災害時における支援協力に関する協定」を締結

広島県遊技業協同組合（延川章喜理事長）は、2020年6月12日（金）、広島県と「災害時における支援協力に関する協定」を締結した。協定の内容は、災害発生時に県から県遊協に依頼があったときに、組合員ホールの施設を救助や復旧作業の活動拠点として無償提供するもので、主に被災地周辺のホール

駐車場に現地対策本部を設置し、重機や資機材、物資を保管すること
を想定している。

広島県で発生した2014年広島土砂災害や2018年西日本豪雨の際、被災地周辺のホールが個別で駐車場の提供等の協力を行ってきたが、本協定により県遊協が窓口となることでより迅速な対応が期待される。

当日は、広島県庁において、同県遊協延川理事長と湯崎英彦広島県知事が協定書を交わした。



イベント協賛／参加

山梨

少年の立直り支援活動に参加

山梨県遊技業協同組合(星野謙理事長)は、山梨県教育委員会・警察署・町役場が合同で開催



した「少年の立直り支援活動」に賛同し、事務局員が2020年8月4日(火)と8月7日(金)に行われた支援活動に参加した。
この支援活動は、非行少年など何らかの問題を抱える少年をサポートし、学業や就業などにつなげていく取り組みで、今回は料理教室や灯籠づくりなどを行った。



青少年非行防止活動に参加

同県遊協は、2020年8月25日(火)、山梨県青少年総合対策本部(山梨県教育委員会社会教育課担当)が主催の「令和2年度第1回

青少年社会環境健全化推進キャンペーン」に参加した。当日



は、山梨県警察はじめ、酒類販売組合等県内36団体が参加して県内のコンビニエンスストア、パチンコホール、酒類販売店等を巡回して、チラシ及びポスターを配布して健全化推進の協力・理解を呼びかけた。



支部組合／ホールによる社会貢献活動

顕彰／表彰／感謝状授与

青森

地区少年警察ボランティア連絡会から感謝状授与

青森県遊技業協同組合中弘南支部(上谷眞一支部長)は、2020年7月22日(水)、弘前地区少年警察



ボランティア連絡会の少年非行防止及び健全育成活動を支援していることが評価され、同連絡会から感謝状が授与された。



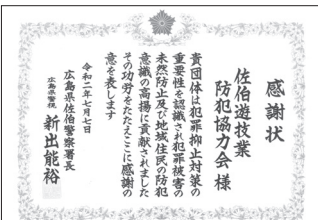
広島

所轄警察署長から感謝状授与

広島県遊技業協同組合傘下の佐伯遊技業防犯協力会(中野修会長)は、



2020年7月7日(火)、広島市佐伯区内で多発している自転車盗の注意喚起標示を設置し、防犯環境整備を推進するための購入費用を協賛し、犯罪の未然防止及び地域住民の防犯意識の高揚に多大な貢献があったと



して所轄の佐伯警察署長から感謝状が授与された。

イベントの開催

岩手

児童養護施設の子どもたちを招待してランチ交流会を開催

岩手県遊技業協同組合傘下の盛岡遊技業協同組合青年部会(山田哲郎部会長)は、2020年2月8日(土)、盛岡市所在の児童養護施設の子どもたちを招待したホテルでのランチ交流会を開催した。



当日は、施設の幼児から高校生までの47人と施設職員が参加し、青年部会員とテーブルマナーを学びながらの楽しい思い出となるようランチやゲームを通じて交流を図った。終始和やかな雰囲気の中で行われ、食後はビンゴ大会で盛り上がった。園長からは「貴重な機会を提供していただいた。」との感謝の言葉があった。

寄付/寄贈

青森

小学校児童に万引き防止啓発物品を寄贈

青森県遊技業協同組合傘下の青森県中弘南遊技業防犯協力会(上谷眞一会長)は、2020年7月2日(木)、少年非行防止活動支援の一環として、弘前地区少年警察ボランティア連絡会及び弘前警察署からの依頼を受け、弘前市立小友小学校の児童に万引き防止標語入りの鉛筆800本を寄贈した。



「交通安全マップ」作製を支援

同県遊協上十三・下北支部(朴鉄勇支部長)は、野辺地地区安全運転管理者協会及び野辺地警察署からの依頼を受け、交通危険箇所の周知用交通安全マップの制作を支援し、2020年7月29日(水)、作

製した交通安全全マップ(チラシ1000枚、ポスター200枚)を寄贈した。

同交通安全マップは、野辺地町中心部の事故発生場所などを示しており、ドライバーへの注意喚起に活用されるところにも、町内の事業所や学校、スーパー等に掲示する。



組合員ホールが「反射材キーホルダー」を遊技客に配布

同県遊協組合員ホールのダイナム青森浪岡店(青森市)は、2020年8月22日(土)、地区内の交通安全啓発活動の



一環として、所轄警察署内の地区交通安全協会から反射材キーホルダー200個を購入し、高齢の遊技客に対し総付景品として配布した。

宮城

組合員ホール企業が自治体/社会福祉施設にマスクを寄贈

宮城県遊技業協同組合傘下組合員ホール企業の北都観光(仙台市、県内で5店舗を展開)は、2020年4月初旬から5月末までの間、仙台市・利府町及び県内の病院や社会福祉施設に不織布マスクを計2万3250枚寄贈した。



寄贈に対し、仙台市をはじめ受贈団体から同社に感謝の声が寄せられた。

北都観光株式会社
代表取締役社長 武本 篤石 様

新幹線の線、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
平素より、仙台市に施設のご委託を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、この度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のために、マスクをご提供下さいまして誠にありがとうございます。
新型コロナウイルスの感染者は、世界各地で確認され、日本国内においても、感染者が増加しており、日本政府において緊急事態宣言がなされた状況です。
本年におきましても、感染者が確認されておられ、感染拡大防止対策の実践について、貴社等に対して周知徹底を図ってまいりたいと考えています。
これら状況の中、感染拡大防止対策の一つとして、貴社様、福祉施設等において、マスクの需要が高くなっており、本市といたしまして、さらなる支援が必要と考えております。
令細のマスクのご提供に対して、貴社のご提供に改めて感謝申し上げます。本表ならば御届のうえ御礼申し上げますことではございますが、取り急ぎお礼をもちまして、御礼のご挨拶とさせていただきます。

2020年5月30日

仙台市長 郡 和子

埼玉

2市1町社会福祉協議会にお菓子を寄贈

埼玉県遊技業協同組合傘下の上尾遊技業組合との傘下ホールの上尾UNO、上尾UNO2号店は、2020年4月9日(木)、上尾市社会福祉協議会、桶川市社会福祉協議会及び伊奈町社会福祉協議会に対し、活動支援の一環としてお菓子を寄贈した。

寄贈したお菓子は、市内児童養護施設等で子どもたちに提供された。



防犯/防災活動

広島

高齢者世帯に給付金詐欺注意喚起「かもめーる」を配布

広島県遊技業協同組合傘下の安佐北遊技業防犯協力会(仲村誠司会長)は、2020年6月2日

(火)、管内高齢者世帯(2600世帯)に向けて新型コロナウイルス給付金詐欺の注意喚起を行うため、安佐北警察署、安佐北防犯組合連合会、安佐北金融機関防犯組合と

合同で「かもめーる」を配布した。



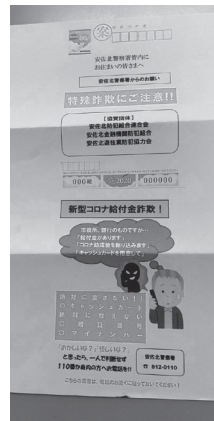
イベント協賛/参加

埼玉

交通遺児の健全な育成活動に協賛

埼玉県遊技業協同組合傘下の大宮遊技場組合は、2020年5月31日(日)付産経新聞埼玉版に掲載された、交通遺児の健全な育成活動を目的とした「交通遺児に愛と希望の灯を」子供たちの心に太陽を」基金への協賛広告に出稿した。

本件協賛(寄付)金は、公益信託埼玉県交通安全対策協議会交通遺児援護基金へ寄付され、交通遺児等の健全な育成に活用される。



リカバリーサポート・ネットワーク
第11回通常総会/第22回理事会を開催

認定特定非営利活動法人リカバリーサポート・ネットワーク(西村直之代表理事)は、9月9日(水)、web会議システムによるリモート形式で、第11回通常総会と第22回理事会を開催した。

第11回通常総会

第11回通常総会には、理事5名、監事2名、正会員2名、賛助会員12名、オブザーバー(事務局含む)9名、計30名が出席した。

西村代表理事からの挨拶に続き、議案審議が行われた。

◆第1号議案 任期満了に伴う監事改選の件
監事の改選について異議なく承認され、全日遊速松尾道彦副理事長が監事に再任した。

◆第2号議案 令和元年(2019年)度法人第11期事業報告並びに活動決算等承認の件
RSN事務局から、2019年年度

の事業報告と決算報告があった。松尾道彦監事から監査報告があり、全会一致で可決承認された。

◆第3号議案 令和2年度法人第12期事業計画決定の件
RSN事務局から、2020年度事業計画について説明があり、全会一致で可決承認された。

◆第4号議案 令和2年度法人第12期活動予算(案)の件
RSN事務局から、2020年度予算案について説明があり、全会一致で可決承認された。

◆第5号議案 定款変更の件
RSN事務局から、web会議等のオンラインシステムの活用による総会や理事会の開催および会員、役員

の表決権行使を円滑に行うことを目的とした定款の変更について説明があり、全会一致で可決承認された。

この他、eラーニングシステムの進捗状況、RSN企業研修について、自己申告・家族申告プログラムに関する問合せについて、RSN啓発ポスターの一部改訂等について報告があり、意見交換が行われた。

第22回理事会

通常総会終了後、引き続き行われた第22回理事会においては、理事5名、監事2名が出席した。またパチンコ・パチスロ産業21世紀会会員団体役員・事務局がオブザーバーとして出席した。

まず、第1号議案「任期満了に伴う役員改選に関する件」が上程され、9月18日の任期満了に伴う理事の改選について承認された。全日遊速からは新たに星野謙副理事長が理事として就任することが承認された。なお、次期代表理事の選任については、9月19日に沖繩のRSN事務所

で臨時理事会を開催し、書面表決によって代表理事が選任される。

第2号議案「役員業務の対価に関する件」が上程され、西村直之代表理事に業務の対価を支給することについて承認された。

この他、eラーニングシステムの進捗状況、RSN企業研修について、自己申告・家族申告プログラムに関する問合せについて、RSN啓発ポスターの一部改訂等について報告があり、意見交換が行われた。

